

受付	個人質問	第	号
	令和 年 月 日	時	分

一般質問＜個人＞発言通告書

令和2年8月25日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 木村さゆり ⑩

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p>コロナ禍における妊産婦の方々へ寄り添った支援について</p> <p>(1) 妊産婦の方々に対してどのような配慮をしているのか。 (2) 感染の不安を抱える妊婦へPCR検査の実施をしないか。 (3) オンラインによる保健指導等考えるべきと思うが見解はどのようなか。 (4) 里帰り出産が困難な妊産婦に育児等の支援サービスを提供できないか。</p>	
2	<p>多胎児家庭への支援について</p> <p>厚生労働省によると、2017年における双子や三つ子などの多胎児の出生件数は約9,900件でおよそ100人に1人の母親が双子以上の多胎児を出産している。同時に2人以上の妊娠・出産・育児をすることに伴う、身体的・精神的な負担や経済的な問題、社会からの孤立など多胎児ならではの困難さに直面する保護者も少なくない。多胎妊娠や多胎児家庭を支援するため、厚生労働省では令和2年度多胎児の育児の育児経験者家族との交流会の開催や相談支援の実施、育児サポーターを派遣し外出時の補助や日常の育児に関する介助を行うなど予算計上した。</p> <p>本市においては第2期子ども・子育て支援事業計画にこういった事業の実施を予定している。早急に取り組むべきと考えるが進捗状況はどのようなか。</p>	

3	<p>高齢者支援について</p> <p>(1) コロナ禍における高齢者施策について</p> <p>ア 介護を必要とする高齢者において、身体機能や認知機能への影響についてどのような認識か。</p> <p>イ 介護を必要としない高齢者への影響についてはどのようなか。</p> <p>ウ 課題解決に向け取り組んできたことは何か。</p> <p>エ 高齢者健康評価事業、高齢者 I C T 利活用促進事業の進捗状況と期待される効果はどのようなか。</p> <p>(2) フレイル健診について</p> <p>今年度から 7 5 歳以上を対象にフレイル健診が開始された。健診結果を基に保健師や管理栄養士からのきめ細やかな助言や社会参加を促す取り組みが期待されるが、本市の実施状況について伺う。</p>	
---	---	--